

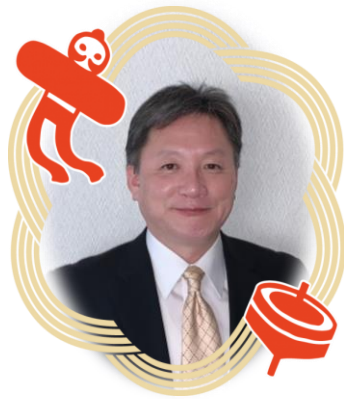


いっぽいっぽ

Vol.31
2025年1月発行

地方独立行政法人広島市立病院機構
広島市立リハビリテーション病院
広島市立自立訓練施設

広 報 誌



病院長 ご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中も当院に多大なるご支援を賜わり、誠にありがとうございました。職員一同、心より御礼申し上げます。昨年は大きな災害で始まりました。被災された皆様方、ご家族の皆様、ならびに関係各位に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興と安全回復をお祈り申し上げます。

さて2024年は郵便代の値上げなど我々の生活に影響するいろいろなイベントが起きましたが、一方で大谷選手のドジャースが優勝するなど、華やかな出来事もたくさんありました。パリ・パラリンピックでは、当センター・自立訓練施設OBの方がエントリーしたという嬉しいニュースもありました。当院は2008年の開設以来、「中途障害者をあらゆるステージで最大限に支援する」ことを目標に職員一同日々仕事に励んでおりますが、2024年は診療報酬改定、働き方改革など、当院を取り巻く環境にも様々な変化が起きた一年でした。現時点ではそれぞれへの対応は十分とは言えませんが、引き続き広島市立病院機構の一員として良質な医療を提供し続けられるよう、一つ一つ根気強く対応していく所存です。

また、病院というのは「ミスが許されない」「忙しい」など、日頃から非常に多くの緊張を強いられる職場です。これまで世間を騒がせた新型コロナウイルス感染症が五類感染症になり以前ほどの脅威が感じられなくなったとはいえ、医療従事者の負担は相変わらずで、ストレスが非常に蓄積しやすい厳しい環境です。ストレスの増加は職場環境を悪化させる要因となります。少しでも働きやすい職場環境の構築を目指すことで、職員同士の関係がよくなり、チームワークもよくなります。結果として当院の理念と基本方針が実践され、患者様が安心できる医療を提供することができます。職員が働きやすい職場の実現も、本年の目標です。

「私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活ができるよう、良質で信頼されるリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します」と謳った、当院の設立当時の基本理念を忘れることなく、これからも着実に日々の診療を行っていきいたいと思っております。ご承知のように今年の干支は「巳」で、「巳」という漢字には「将来・未来がある」といった意味があるようです。巳年にあやかり、当院が明るい未来に向かって飛躍する一年にしていければと思います。

皆様方におかれましては、本年も広島市立リハビリテーション病院を何卒よろしくお願い致します。

令和7年正月 病院長 竹下 真一郎



◆ 新任医師のご紹介 ◆



荒木武尚 医師

4月より当院で勤務させていただいております。前職では神経内科医として、認知症、パーキンソン病、てんかん、脳血管障害などを中心に診療を行ってまいりました。その中で、リハビリテーションの重要性を深く実感しており、当院においてもリハビリテーションを通じて、患者さまの回復や生活の質の向上に貢献できるよう努めてまいります。



琴崎哲平 医師

10月から広島市立リハビリテーション病院で勤務させていただいております。専門は脳神経内科で安佐市民病院や東広島医療センターで主に脳梗塞、パーキンソン病、頭痛の患者さんを診療してきました。これまでは脳梗塞急性期の対応を行い、その後の患者さんのリハビリテーションをお願いしてきました。こちらでは脳卒中後の患者さんだけではなく、他の疾患でリハビリテーションを要する患者さんのお力になればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



田中肇 医師

回復期病院は命をつなぐ急性期病院と在宅復帰の間を橋渡しする存在です。リハビリテーションを通じて患者さんには日常生活に必要な身体・生活機能を再獲得していただきながら、並行してご家族とも連携し福祉サービスを活用した退院後の環境調整を行います。「病気ではなく人とその生活を診る」をモットーに患者さんにとって何が最良なのかを考えながら診療いたします。至らぬ点多々あるかと思いますが、よろしくお願いたします。



2025年4月～MRIが新しくなります！

◆更新後のシステムの性能について◆

3テスラーMRI（GE社：Signa HDxt3T）から1.5テスラーMRI（GE社：Signa Explorer 1.5T）に磁場強度は下がりますが、性能は向上します!!!

- ① DeepLearning による画質の向上
- ② 頭部位置認識による頭部スライス位置の再現性の向上
- ③ 拡散強調画像のひずみ改善
- ④ 撮影時間短縮機能による撮影時間の短縮
- ⑤ 非造影MRA撮影部位の拡充（腎動脈など）
- ⑥ 頭部の非造影還流画像撮影



当院ではCT検査・MRI検査を随時受け付けています。
お気軽にご連絡ください。

◆MRI検査受付休止期間◆

2025年2月12日～3月31日

※MRI検査再開予定は4月1日を予定していますが、状況次第で再開時期が変更となる場合があります。
※ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

放射線科：082-849-2853（直通）

フットケア外来のお知らせ

当院では、専門の資格をもった看護師によりフットケア外来を行っています
内容は、爪切りやタコ・ウオノメの処理など、看護師が行うケアが主体です

医療保険対応
費用はお問合せ下さい

このような症状でお困りではないですか？
ぜひご相談ください！



分厚くなった切りにくい爪

足の裏などにできた硬いタコ・ウオノメ

ご予約・お問い合わせはこちら
日時：毎週月曜日 9:00～15:00
(祝日の週は振替あり)
連絡先:082-848-8001
「フットケア外来の予約」とお伝えください



注意!!このような状態はお受けできません！
①すでに足に傷があり、出血や膿が出ている
②足に炎症があり、痛みがある

看護科のinstagramがあります！

当院看護科広報活動として、院内イベントや看護科で取り組んでいることなど、より多くの皆様に情報をお届けすることを目的としています。お気軽に閲覧ください。



回復期後の「自立訓練」という選択肢があります！

自立訓練施設では、病気や事故などにより身体に障害のある方や高次脳機能障害のある方に、就労・復職といった社会復帰するために必要な支援や、自立した地域生活に向けた実践的な取り組みを行っています。

今回はプログラムの一つである、「集団コミュニケーション訓練」について紹介します。

集団コミュニケーション訓練

当施設では、失語症や構音障害など、他者とのコミュニケーションに難しさがある方の言語能力向上を目指して、集団コミュニケーション訓練を実施しています。

絵カードなどを用いて、発声や聴覚理解の練習を行い、実用的なコミュニケーション能力が身に付くように取り組んでいます。



自立訓練施設のinstagramがあります！
施設の日常や取り組みを発信しています。ぜひご覧ください！

リハビリテーション技術科 通所リハビリのご紹介



当院の通所リハは**介護保険**を利用されている患者様を対象に、週に2回、**コミュニケーション能力の向上**に特化したプログラムを提供し、利用者の方の社会参加を支援しています。

1月からは更に、**高次脳機能（主に遂行機能）の向上**を目指したプログラムを開始しました。

地域での生活における困りごとを皆で共有し、一緒に解決できるよう、職員が一丸となってサポートしています！

日時：月・水・金 10:00-12:00（*月・金は失語症グループ、水は高次脳機能障害グループ）

地域の子どもたちとの交流



リハビリテーション技術科 Instagram はじめました！

当院のリハビリテーションの様子や、設備、備品などを紹介させていただきます。ぜひご覧ください。



⑥HIROSHIMA.REHABREHAB

夏に、地域の小学生が課外授業で職場見学・仕事体験に来てくれました。たくさんの質問が飛び出して、好奇心や探究心の強さにとても関心しました。

秋には、地域の小学校・幼稚園・保育園の子どもたちが敷地内のどんぐり拾いに来てくれました！！袋いっぱいになるまでどんぐりを拾う楽しそうな姿に、私たちもたくさんの元気をもらえました。

これからも、地域に根付いたリハビリテーションセンターとして、活動を行ってまいります。

〈お問い合わせ・アクセス〉



広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設
〒731-3168 広島市安佐南区伴南一丁目39番1号

TEL (082) 848-8001 (代表)

FAX (082) 848-8003